

いまもあしたも誇れる座間であるために…

発行者：おぎはら健司
 発行元：座間市相模が丘3-24-2-203
 連絡先：046-204-5911 (ファックスも同じ)

おぎはら健司の市政レポート

皆さんの声をお聞かせ下さい！

市内の自治会や地区社会福祉協議会等、公的な各種団体や、サークル等の民間団体の総会が各地で開催をされておりますが、3月11日の夕方に配布させて頂いた「市政レポート震災特別号」に掲載したとおり、市内各自治会で加入率向上への取組みが課題になっています。市全体の加入率は54.98%、相模が丘地区では54.68%で、県内でも最低水準となっています。

ここ数日、様々な団体の総会に出席させて頂く中、一様に聞こえてくるのが「役員が回ってくると、退会してしまう方が多い」との声。役員になると面倒くさい事をまかせられそうだから辞めてしまう方がいらっしゃるという事なのですが、自治会に限って申し上げれば、『自治会がないデメリット（リスクと言っても良いかも知れません）』を考え、世の中を構成している『三つの助』、自助・共助・公助のうちの共助を皆さんで少しずつ担って頂き、公助に頼らない（つまり、全ての福祉サービスを税で賄わずに済む）社会を、次世代に受け継いで行くために微力を尽くして参りたいと存じております。

さて、生意気な事を申し上げましたが、本題に入ります。ちょうど一年前、昨年4月15日から駅頭にて配布させて頂いている「市政レポート」ですが、お陰様で20号となりました。稚拙な内容のレポートですが、いつもご愛読を頂いております事に心から感謝申し上げます。一方通行のレポートですので、皆さんの知りたい情報を提供できているのか、あるいは、市政を身近に感じて頂く一助となっているのか、いつも気になるところです。

たまにメールやファックスにてお問い合わせ頂く事もありますが、皆さんの声を聞かせて頂き、市政に反映させていくというのも市議会議員としての大きな使命です。是非とも、ご意見やご要望等をお寄せ頂きたく存じます。

右のQRコードから、私の自宅パソコンメールを頂けますので、どうぞお気軽にご連絡を賜りますようお願い致します。

個人情報もしっかりと管理致します。

3月の下旬から今月にかけて、選挙の際にご支援頂いた方々や選挙後に知り合った方々との「ミニ集会」を複数回に亘り開催頂きました。ミニ集会と言うと堅苦しく感じられるかも

知れませんが、平たく言うと「座談会」です。テーマ等は決めず、皆さんが普段から疑問を持たれている事や希望されている事について、フリートーク形式で進め、その場で答えられる事はお答えし、宿題としてお預かりするものについてはなるべく早く回答をさせていただきます。

私自身、選挙に立候補させて頂いた際、色々な方から聞かれたのが「どんな町を作るの？」や「何をしたいの？」といった声でした。

その際の私の答えは「私が住みたい町が皆さんの住みたい町とは限りません。ですから、皆さんの住みたい町の姿を教えてください。1人暮らしの高齢者と現役世代で子育て世代では、住みたい町・住みやすい町の姿は違うはずですから、そうした皆様それぞれが住みたいと思える町づくりの実現のお手伝いをしたいのです。」というものでした。

その原点は、ミニ集会等の現場で皆さんの生の声を聞かせて頂くことにあります。

お2人以上のお仲間同士や、サークル等のグループ単位にてご連絡を頂ければ、日程を調整し伺わせて頂きたいと思っております。会場については、ご自宅や、あるいはコミセン等でも結構ですので、まずはご連絡をお待ち致しております。

男性は貴重品？

座間市に限らず各自治体では、名称は異なれど情報システム課（座間市）のような部署で各種の統計を調査していますが、年齢別の人口統計表を取り寄せて分析したところ、驚くべき(?)内容となっております。

0歳児から99歳までと100歳以上、それぞれの年齢ごとに男女の人数が列挙されています。一般的には、男性は女性よりも産まれる比率が高いそうなのですが、0歳～60歳までの比率は、7世代を除いて全て男性が多いのですが、61歳以上を見ると全ての世代で女性が男性を上回っています。特に99歳世代は総人口28名のうち男性はゼロ。最高齢103歳となる100歳以上では、33名中、男性は4名のみとの事。

遠藤市長いわく「男性のお年寄りは貴重品ですから、大切にしてください」との事(笑)。

ちなみに、私の世代(42歳)は男女差が最も大きく、男性1,292名、女性1,066名です。

…だから嫁が見つからないのか(苦笑)。